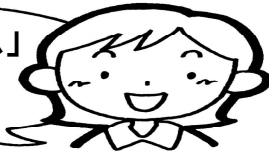


「ほっとルーム」だより



第139号 令和2年3月2日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(教育委員会 社会教育課内 TEL.21-5130)

荒川小で、「ほっとルーム」
の出前サロン「おあしす」を
開設しました。



荒川小「おあしす」



2月8日(土)、荒川小で「おあしす」を開設しました。家庭教育学級の一コマに設定してくださって、子育ての悩みやお子さん、お母さんの頑張りなど、楽しく語りました。

本は感動の扉を開く



「読書は心の栄養」など、読書の大切さが言われています。社会教育課でも、6ヶ月健診に合わせて、「ブックスタート」として、読書のお勧めをしています。

1月24日(金)のブックスタートでは、親子読書のお勧めや、市の図書館の使い方等の説明とともに、絵本と手提げ袋を贈りました。大型絵本の読み聞かせは、しかけ絵本「たまごをこんこんこん」を、親子で楽しく聴きました。ご家庭でも、子どもさんと話し合っ、テレビやゲームをお休みさせ、親子で一緒に読書をしたり、読み聞かせをしてあげるなど子どもさんが本に親しむ環境を作ってみるのも良いですね。

「感情的に叱る」と、「感情を込めて叱る」の違い

子育てアドバイス

周りに迷惑をかけたり、親として許せない事を子どもがした時

- 叱らないのは、やさしいのではなく、親としての責任を放棄していること。
- 「ほら、あのおばちゃんがいらんでいるでしょう」等、人のせいにしなない。



- 何故叱られているのか、訳を感情を込めて話しましょう。
- 感情的になっていませんか？
 - ・ 「叩かない」「怒鳴らない」を心に決めましょう。
 - ・ 子どもの言い分にも、耳を傾けましょう。
 - ・ イライラする時は、6秒待ちましょう。

子育ての中で、気になることがあったら、1人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム：教育委員会 社会教育課内

TEL：21-5130 FAX：36-5044

※ご希望があれば、長子に限らず、どの学年でも訪問いたします。

相談機関

かごしま教育ホットライン24

TEL：0120-783-574 (携帯電話はつながりません)

TEL：099-294-2200



地域文化に触れよう！

～荒川小学校家庭教育学級～

荒川小学校家庭教育学級「ほたる学級」は、1月17日(金)、「地域文化に触れる」で、「荒川太鼓」を体験しました。

「荒川太鼓」は、荒川小学校の児童が練習に励み、色々なイベントに出演し喝采をあびているものです。いざ、叩いてみるとなかなか難しく、学級生も汗だくになりながら、地域文化のすばらしさを体感していました。



学級生の声

→ 子どもたちが叩いているので、簡単に考えていましたが、実際に叩いてみて、難しさを味わえて良かったです。地域文化に触れる良い機会になりました。

五行でつづる母へのラブレター

「おかえり」
母の声が聞きたくて
「ただいま」
何度も叫んでみる
1人のへやで

「べんきょうしなさい」
「しゅくだいしなさい」
「おてつだいしなさい」
「おかあさん
しずかにしなさい」



児童作文より

家庭教育支援事業の説明を行いました

社会教育課では、入学説明会の時、来年度、小・中学校に入学する子どもさんをもつ保護者を対象にした「家庭教育講座」を行っています。それに先立ち家庭教育支援事業の説明をしました。

入学に向けて、各家庭では、いろいろと準備を進めていらっしゃることでしょう。子どもさんのやる気や頑張りを認め、子どもさんが元気に入学するよう後押ししましょう。



串木野小での説明の様子

○ 健やかな生活リズムを作りましょう。
(早寝・早起き・朝ご飯)

○ 避けたい言葉かけ

- ・「もう1年生だから、しっかりしないとだめよ」
- ・「お友だちに負けないようにがんばるのよ」



